一般社団法人 とみおかプラス

とは？

１．とみおかプラスの目的

設立趣意書より抜粋（前文略）

　発災から５年が過ぎ、町外での避難生活が長期化する中、私たちの富岡町は、町民の息づかいのない、時が止まった空間になっています。私たちが慣れ親しみ、そして誇りとし、また心の拠り所として祖先から引き継いできたふるさとがますます色あせてしまうことが懸念されます。

　町では、今、町の復興を本格的に推し進めるために「平成２９年４月の帰還開始」を目指しています。私たちの“ふるさと富岡”を魅力ある町として再生し、発展させるためには、行政と町民が互いに連携・協働し、さらには町内外に関わらず、情熱を持ったあらゆる人々が互いにつながる環境づくりが求められます。

　（仮）一般社団法人とみおかプラスは、“つながり”と“創造”を理念の基礎とし、今後これに資する取り組みを発案し、継続していくための仕組みづくりや支援を行っていきます。そして、“ふるさと富岡”を想うあらゆる人々が協働する身近な組織として、「未来に向けたまちづくり」を主導する役割を果たしていきます。

2．とみおかプラスの基本理念

とみおかプラスは、“ふるさと富岡”を想う人々が集まり、

未来に向けたまちづくりに取り組んでいく民間主体の組織である。

これからの富岡町に求められるものの具現化

- 町の未来を担う人材の確保・育成
- 町に安全や安心、元気をもたらす共助や協働の仕組み
- 町外から町に関われる交流・つながりの仕組み
- 町に新たな魅力を生み出す取り組み

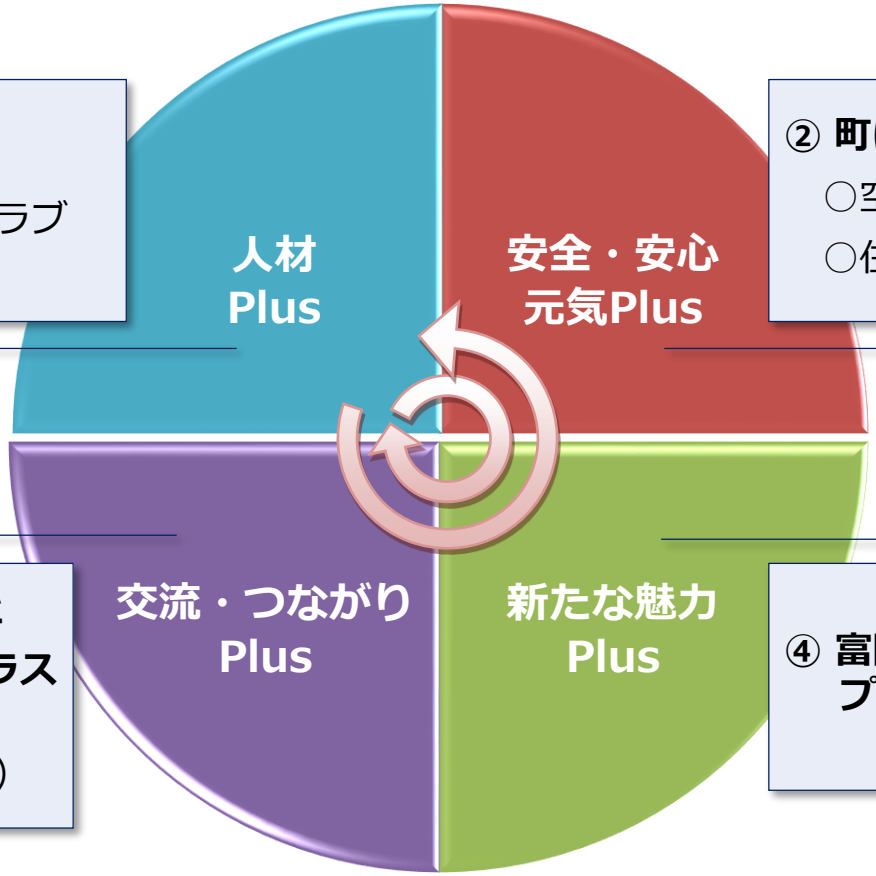
１．とみおかプラスの４大活動

“とみおかプラス”は、４つの活動を通して、富岡町の

「未来に向けたまちづくり」を主導していく。

① 町に人材をプラス
（確保･発掘・育成）
○とみおかサポータークラブ
○とみおかプラス会議

② 町に安全･安心･元気をプラス
○空き家・空き地バンク支援
○住宅環境回復支援



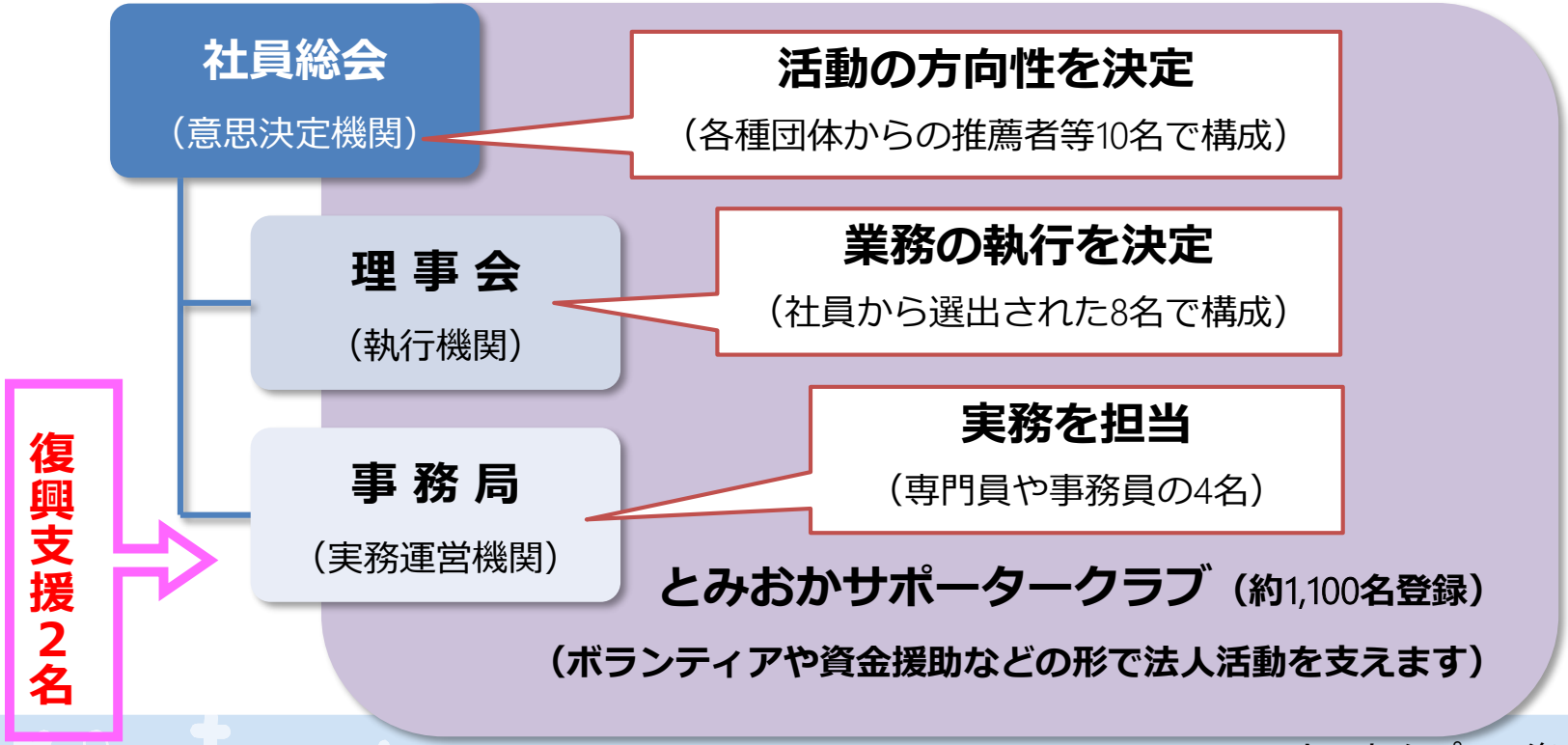
③ 町に人の流れ（交流）と
つながりをプラス
○人町交流促進
（行事・イベントなど）

④ 富岡町の未来に新たな魅力を
プラス

2．とみおかプラスの組織形態

① “ふるさと富岡”を想う人々の集まりを基盤とした、
「営利を目的としない活動」を行う団体
⇒ 「一般社団法人」
※ 活動に伴う余剰利益は処分せず、翌年度の活動資金に充当していきます。

② とみおかプラスは、“ふるさと富岡”を支えてきた各種団体により組織化



3-1. 活動概要

① 町に人材をプラス（確保・発掘・育成）

【とみおかサポーター活動】

◎ 会費制の会員組織「とみおかサポーター」を組成（クラブ）化。

◎ とみおかプラスを通して、まちづくり活動に参加する人材を集める。

プラス

【とみおかプラス会議】

◎ とみおかサポーターが参加し、町に新たな魅力を“プラス”する知恵やアイデアを出し合う会議。

◎ とみおかサポーターの知恵やアイデアを蓄積し、“とみおかプラス”の取り組みのベースとなる会議。

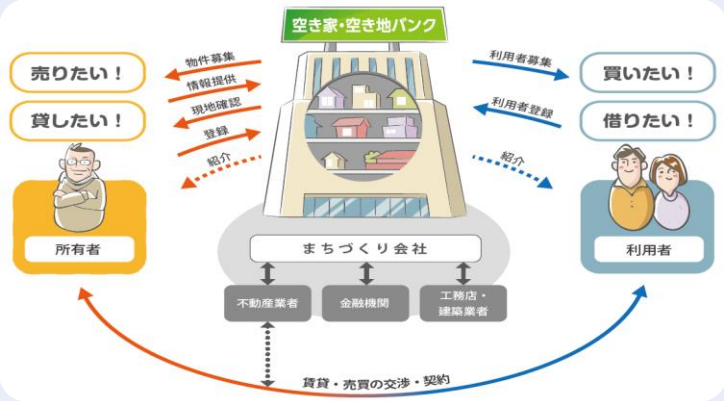
富岡町の未来に向けたまちづくりの担い手を確保・育成していきます。

3-2. 活動概要

② 町に安全・安心・元気をプラス

【空き家・空き地バンク支援】

◎ バンクの登録受付やＰＲ、町内不動産の有効活用に関する相談など。

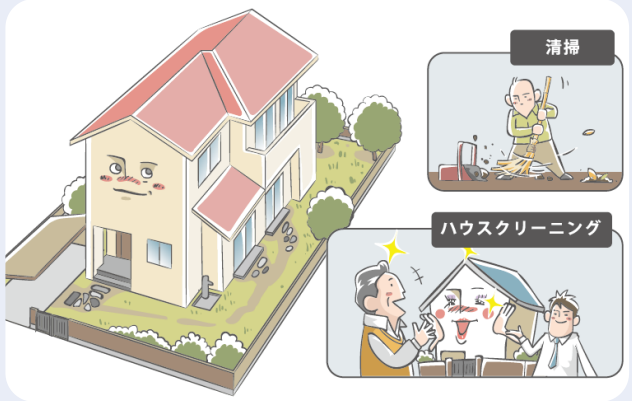


※富岡町実施事業の運営支援
約80件

プラス

【住宅環境回復支援】

◎ 住宅環境回復の相談・補助金申請の支援。



※富岡町実施事業の運営支援
約170件

町内の土地や建物の環境回復や保全管理、利活用などを支援していきます。

3-3．活動概要

③ 町に人の流れ（交流）とつながりをプラス

【桜のﾗｲﾄｱｯﾌﾟ】

◎ 「夜の森」の桜のライトアップの実施。

プラス

【富岡夏祭り】

◎ 夏の風物詩の「うちわ祭り」「打上花火」の実施。

プラス

【その他イベント】

◎ 複合商業施設などを活用したイベントの企画・実行。

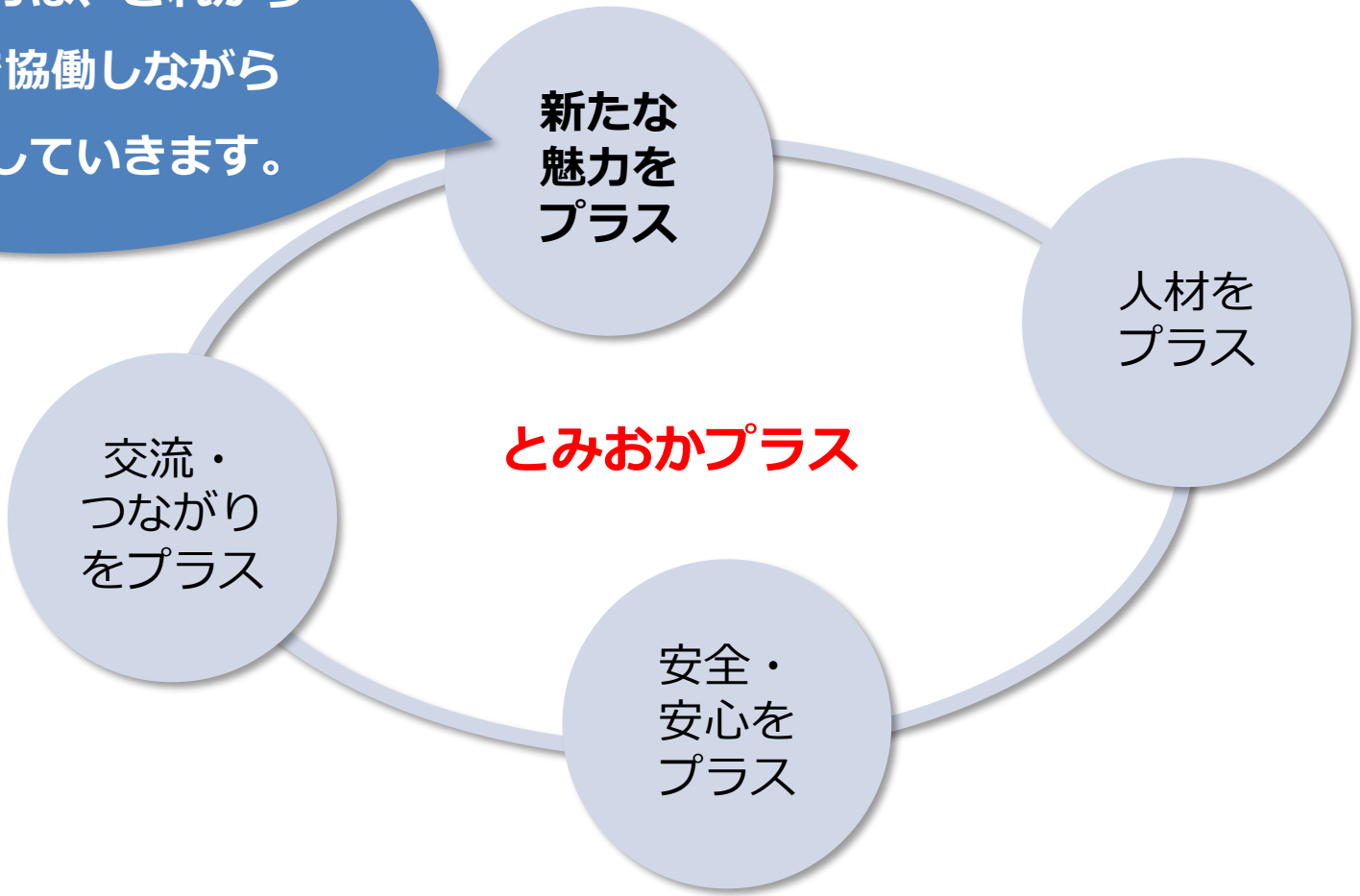
◎ 諸団体が実施するイベントへの人的支援。

富岡ならではの行事の復活をはじめ、季節に応じた様々なイベントの企画・実行により、町が人でにぎわう環境を作っていきます。

3-4．活動概要（当面の活動）

④ 富岡町の未来に新たな魅力をプラス

新たな魅力は、これから
みんなで協働しながら
“プラス”していきます。



4．事業実績①

桜並木ライトアップの実施
（4月6日～14日）

昨年同様、「夜の森の桜」ライトアップを実施。町内における木蓮や枝垂れ桜についてもライトアップを行った。

また、開花の時期に合わせて町内の3か所に「開花情報」を設置し、国道及び高速の利用者にも、ふるさとの桜を発信することができた。

さらに、各所のイメージを施したスタンプを作成し、当該機関における「スタンプラリー」を企画。町内での魅力発信に貢献した。

4．事業実績②

とみROCK2018の開催
（8月11日）

　とみおか町に「音楽で元気を」と「とみおか夏フェス実行委員会」を設立し、駅東側の敷地にて「とみROCK2018」を実施した。この事務局をとみおかプラスが担い、関係機関との調整等を行った。サポーターの協力を得て、多くの来場者で賑わった。
　他町村や県外からの来場者も多くみられ、交流人口の増大に貢献することができた。

4．事業実績③

富岡夏まつりの開催
（8月14日）

昨年に引き続き、『富岡夏まつり』を富岡町や富岡町商工会ら約20の団体で組織した実行委員会により実施した。この事務局をとみおかプラスが担い、関係機関との調整等を行った。小中学校の校庭を使い、「流しそうめん」や「スイカ割り」など子供連れでも参加しやすい雰囲気づくりを行い、予想を大きく上回る来場者で賑わった。

4．事業実績④

デザインりんごづくり（9月1日～10月27日）

災害以前よりお付き合いのある埼玉県杉戸町は、避難先としてもご協力をいただいた町である。昨年の絵文字リンゴを杉戸町の杉戸農業高校の文化祭にて提供を行ったり、リンゴを通じて富岡町の学生とスイーツづくりにチャレンジ。貼付・収穫作業にはとみおかサポータークラブのメンバーをはじめ、福島市内に避難中の町民・ボランティアなど延べ20人が参加。収穫したリンゴは富岡町の町立小中学校や福祉祭りなどで配られた。